お墓にお参りするということ

No. 9 1

発行

令和7年5月 発行元 徳 泉 寺 仙台市宮城野区

榴岡 3-10-3

(022)297-4248

tokusenji.send ai@gmail.com



tokusenjisendai.com



Instagram

tokusenji.sendai



春の法要 勤 修 いたしまー

もありました。 で一時間半ほど。遠くは東京都からわざわざお参りくださった方 ている法要です。本堂での勤行、法話、そして墓参後、 は共同墓地、ペット墓地にご縁のある方を中心に毎年四月に勤め 去る四月二十日 ありがとうございました。 (日) 春の法要を勤修いたしました。 茶話会ま 春の法要

わせることは、自分のルーツに思いを馳せ、自分をたずねること などはないのではないかな、と思えるほどです。ご先祖に手を合 ょうか。どなたか親族の祥月命日はもちろん、毎月、毎週、家族 日々お墓参りされる方がとても多いのです。土地柄もあるのでし 生活して初めて気づいたのですが、お盆やお彼岸だけでなく、 管理、清掃、維持などにかかる負担を心配してのことでしょうか。 でもあります。先日、ご主人を亡くされて埋葬する墓地を探しに 揃って墓参される方の多いこと。多分、一人も墓参者のいない日 ないから」と自分が墓に入るのをためらう方もあるとか。墓地の 様化してきているのを感じます。「子どもたちに迷惑を掛けたく すがそのどれもがとても大切にされているのを感じます。お寺に 徳泉寺の境内には個人墓地と共同墓地とペット墓地がありま 家族の形が変わり家制度の薄れた今、墓地に対する考え方も多

ようにしてもらいたい、と思うのだけど、娘たちのことを考える 私、自分のことだけ考えたら海にでも山にでも跡が残らない

とをとても嬉しく感じた法要でした。

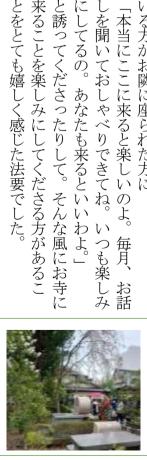
来ることを楽しみにしてくださる方があるこ

あなたも来るといいわよ。」

が、私が死んだ後に娘たちにしてあげられることではないかと思うの ないかと思うの。娘が私を思って手を合わせる場所があるということ と私の骨がどこかきちんと納められていることに意味があるのでは

が、ここにご縁をいただいた方々と共に手を合わせる機会をいただけ を見守ってくださる存在になると、前住職はよく法話の中で言います 祈りを捧げる場となっています。亡くなった方は諸仏となって私たち たことを大変ありがたく感じています。 とおっしゃっておられ、深く頷かされました。 共同墓地は合葬墓ですので、より多くの方が手を合わせ、花を供え

墓地を契約され、同朋会にも通ってくださって 方も少ないのですが、 茶話会の場を設けています。 に、また温かい気持ちになりました。 いる方がお隣に座られた方に 法要終了後には同朋会館の広間に立ち寄り、 和やかに談笑される様子 お互い顔見知りの 昨年共同





「本当にここに来ると楽しいのよ。